

順番・場面 | 声かけと使い方

12枚、各3場面。上下の位置を入れ替えてある。答えの「上・中・下」は紙面上の位置。描かれた活動を進める場合の順序を記載した。指で順に示せばよく、番号を書く必要はない。

まず1場面ずつ何が起きているか確かめる。最初の場面を示して「つぎはどれ」と尋ねてもよい。最後に3場面を順に指さす。発話を求めず指さしや視線での回答も認め、大人が短く代弁する。疲れ・拒否時は休止し、12枚を一度に行わない。実際に活動をさせる課題ではなく、切取りも不要。

家庭や園の生活順・道具・身体条件・文化の違いを唯一の正解にしない。ここでの順序はタイトルに沿ったお話の例。片付けの逆を「遊び始める」、靴下の逆を「脱ぐ」と説明するなど、絵に合う別の筋道は聞いて受け止める。

AI作成のたたき台です。実印刷・利用者の試用・教育効果は未検証。本人の意思と反応に合わせて選んでください。

01 パズルを はめよう

正解例：中→下→上。

絵の流れ：3つの穴と外のピース→丸と三角が入り四角をはめる途中→3つとも入った完成状態。

声かけ1：「ピースがまだ外にある絵はどれかな。」

声かけ2：「全部はまったのは、どの絵かな。」

簡単にする方法：最初と最後だけを見せる。

安全・個別条件：実物で遊ぶ場合は大きいピースを使い、口に入れない。丸と三角のどちらを先にはめるかは問わない。

02 つみきを つもう

正解例：下→上→中。

絵の流れ：3個が別々→2段の上に星の積み木を置く途中→丸・三角・星の3段が完成。

声かけ1：「積む前のつみきはどれかな。」

声かけ2：「星のつみきをのせたら、どの絵になるかな。」

簡単にする方法：下と中の2場面から始める。

安全・個別条件：低い位置で大きな積み木を使う。家庭での積み方や印の上下を一般的な決まりにしない。

03 おはなを かこう

正解例：上→下→中。

絵の流れ：白紙→花びらと茎を描いている途中→茎と2枚の葉まで描いた花が完成。

声かけ1：「何も描いていない紙はどれかな。」

声かけ2：「葉っぱまで描けた絵はどれかな。」

簡単にする方法：白紙と完成だけを比べる。

安全・個別条件：実物で描く場合は年齢に合う筆記具を使う。葉から描く子の描き方を誤りにしない。絵に示した変化を見る。

04 おもちゃを しまおう

正解例：中→上→下。

絵の流れ：3つのおもちゃが箱の外→くまは箱内、車を入れ、ボールは外→3つとも箱内。

声かけ1：「おもちゃが箱の外にあるのはどれかな。」

声かけ2：「入れている途中の次は、どの絵かな。」

簡単にする方法：最初と最後の2場面を示す。

安全・個別条件：重いふたのない箱で行う。どのおもちゃから片付けるかは家庭や本人で選べる。逆向きの遊び始める話も聞く。

05 タオルを たたもう

正解例：中→下→上。

絵の流れ：広がったタオル→手で折っている途中→小さくたたんだタオル。

声かけ1：「広がっているタオルはどれかな。」

声かけ2：「手で折ったあと、どうなるかな。」

簡単にする方法：広げた状態とたたんだ状態だけを示す。

安全・個別条件：この絵の折り方の例。家庭のたたみ方・折る回数・収納方法を正誤判定しない。

06 てがみを いれよう

正解例：下→上→中。

絵の流れ：カードが封筒の外→差し込む途中→封筒のふたが閉じた状態。

声かけ1：「おてがみが外にある絵はどれかな。」

声かけ2：「入れたあと、ふたはどうなったかな。」

簡単にする方法：カードが外か中かに注目する。

安全・個別条件：紙端に注意する。のりや切手は不要。開封する逆のお話も、絵に合う理由を聞く。

07 かばんに いれよう

正解例：上→下→中。

絵の流れ：うさぎのぬいぐるみがかばんの外→かばんへ入れる途中→ふたを閉じたかばん。

声かけ1：「うさぎさんは、どこにいるかな。」

声かけ2：「入れたあと、かばんはどうなったかな。」

簡単にする方法：外にいる場面と閉じた場面だけ見せる。

安全・個別条件：絵はぬいぐるみ。生き物はかばんに入れない。実物なら軽い布かばんを使い、顔にかぶらない。

08 シールを はろう

正解例：下→中→上。

絵の流れ：3つの円が空→星シールを貼る途中→3つとも星シールが付いた台紙。

声かけ1：「シールをまだ貼っていない台紙はどれかな。」

声かけ2：「全部貼れたのはどれかな。」

簡単にする方法：台紙の丸だけを指さし、背景のくま・クレヨンから注意を戻す。

安全・個別条件：小さいシールを口に入れない。貼る場所の順番は自由で、この絵の変化のみを扱う。

09 バナナを むこう

正解例：上→下→中。

絵の流れ：皮つきのバナナ→手で皮をむいている途中→実と皮が分かれた状態。

声かけ1：「皮がついたままのバナナはどれかな。」

声かけ2：「むき終わったら、実と皮はどうなったかな。」

簡単にする方法：皮付きとむき終わりの2場面で比べる。

安全・個別条件：食べる課題ではない。実物は食物アレルギーや衛生に配慮して大人が判断する。
刃物不要。

10 くつしたを はこう

正解例：中→下→上。

絵の流れ：裸足と外の靴下→つま先が入り、かかとは外→かかとと足首まで履いた状態。

声かけ1：「まだはいていない絵はどれかな。」

声かけ2：「かかとまで入った絵はどれかな。」

簡単にする方法：裸足と履き終わりから始める。

安全・個別条件：実物は安定して座って行う。身体の動きや感覚に合わせて介助し、自力を強制しない。脱ぐ話も理由を聞く。

11 せんを けそう

正解例：中→下→上。

絵の流れ：紙に長い線→消しゴムで消して線が短くなる→線がなくなった紙。

声かけ1：「長い線があるのはどれかな。」

声かけ2：「消している途中の次はどうなるかな。」

簡単にする方法：線がある・ないの2場面から始める。

安全・個別条件：実物なら消しゴムを口に入れない。紙を支える介助を認める。速さや力を競わせない。

12 すなの かたを つくろう

正解例：中→下→上。

絵の流れ：砂を入れたバケツ→伏せたバケツ→持ち上げて型の砂が残る。

声かけ1：「砂が入ったバケツはどれかな。」

声かけ2：「バケツを持ち上げたら、何が残るかな。」

簡単にする方法：伏せた場面と型が現れた場面で比べる。

安全・個別条件：実物なら清潔な浅い砂場で見守り、砂を投げたり口に入れたりしない。終わったら手を洗う。